

◎基本情報

事務事業名		第2期文化のまちづくり基本計画策定事業		担当部署	市民環境部 文化交流推進課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市文化のまちづくり条例	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	平成 29年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なんと			終期	~平成31年度
(小項目)		文化振興				
施策	4	暮らしの中で文化と創造が息づくまちづくりの推進				
基本事業	1	「第2期鳴門市文化のまちづくり基本計画」の策定				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民、市内で文化芸術活動をしている団体						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	平成19年4月に施行した「鳴門市文化のまちづくり条例」に基づき、本市の文化芸術の振興を計画的に推進するため、「第2期鳴門市文化のまちづくり基本計画」を策定する。						
事業計画	29年度に何を計画していたか	市民や市内文化芸術活動団体等の意見・要望等を集約をし、審議会開催、パブリックコメントを実施し、「第2期鳴門市文化のまちづくり基本計画」を策定する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位
		第2期基本計画策定		計画策定				

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	基本計画では、文化芸術活動に取り組む市民が活動の成果を発表したり、芸術文化を鑑賞する場となる文化施設の活用や充実にに向けた施策等を示す必要がある。また、市の公共施設については平成29年3月に「鳴門市公共施設等総合管理計画」が策定され、文化施設である鳴門市文化会館については、施設の更新も含めた検討を行う必要があると示された。このことから、施設を更新する場合の影響等について、市外施設状況等を調査するとともに、低額で安全を確保できる耐震改修手段について調査研究した。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
	指標名	28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 審議会開催	0	0				回
	2 パブリックコメント実施		0				実施
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	第2期基本計画策定		未策定	-	-	-	
	目標達成率(実績/目標)		0.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	未達成		事業全体の進捗状況			ほぼ計画どおり	

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	0	0	0	0	894	894
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	894	894
		決算額	0	0	0	0	0	0
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)		総人件費		総事業費
		0.1	0.0		723		723	

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費		0	100	-	
	うち一般財源		0	100	-	
	人件費		723	723	-	
	総事業費		723	823	-	

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった	耐震診断時に算定された耐震工法より安価で耐震補強できる工法について調査した。
	効率性	B:概ね効率的だった	正規職員1名が主担当となって、活動をおこなった。
②成果に対する評価	指標名	第2期基本計画策定	文化施設のうち文化会館の更新については、個別施設計画で具体的な方向性を示す必要が生じたため、当該事業を年度内に策定することができなかった。
	目標	計画策定	
	実績	未策定	
	評価	D:目標を達成できなかった	
③総合的な評価		C	成果目標を達成できなかったが、文化会館の耐震補強工法について有効となりうる活動を実施したことから、C評価としたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	文化のまちづくり基本計画を策定するにあたっては、文化活動の拠点となる文化施設の更新等について、公共施設等総合管理計画との整合性をふまえて、長期的視点にたった個別施設計画を策定した上で、文化施設の活用及び充実に関する方向性を明確にしていく必要がある。このため、個別施設計画をまず策定することとし、文化施設の更新等のビジョンを示した上で本計画の策定に着手する。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	鳴門市公共施設等総合管理計画では鳴門市文化会館の耐震改修には多額の費用を要し、耐震改修によって施設機能が低下すると見込んでいるが、比較的 low 額で、かつ施設機能を大きく損なわない耐震改修工法があることが判明した。このことから、改めて耐震改修に必要となる経費や改修工事に伴う会館運営への影響等について検討・協議を行い、個別施設計画を策定する。			
	H31年度	アンケート・ヒアリング調査を行い素案を作成する。素案は審議会にて修正・追記等を加え、市議会の意見聴取の後パブリックコメントを実施する。その後、審議会にて承認された最終素案を市議会に報告した後、市長に答申し、計画として策定する。			